

令和 7 年度経営発達支援計画 事業評価報告書

評価者 日本政策金融公庫北見支店 支店長 白 井 幹 章 氏
税理士 渡 邊 直 喜 氏
紋別市産業部 部長 高 橋 秀 明 氏
紋別商工会議所 専務理事 今 井 晃 氏
紋別商工会議所 経営指導員 曾 根 大 希 氏

【令和 7 年度 実施事項評価表】

項 目	事業評価
1. 地域の経済動向調査に関すること	A
2. 需要動向調査に関すること	A
3. 経営状況の分析に関すること	B
4. 事業計画策定支援に関すること	B
5. 事業計画策定後の実施支援に関すること	D
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	D
7. 経営指導員等の資質向上等に関すること	A

【意見】

- ・例年、セミナーの集客が芳しくないとのことであるが、SNS であれば実際にコンテンツを作成する、経営分析であれば自社の経営分析を行うなど、中級者向けのより実践的な内容とすることで、新たな参加者層の開拓につながるのではないだろうか。セミナーは支援先の開拓も目的の一つとしていることから、集客を図ることは重要である。
- ・土産店の調査については、売上動向も調査項目に含めることで、事業者にとってより有用な資料となるのではないだろうか。次回実施する機会があれば、追加を検討してほしい。
- ・市内には EC サイトの構築を行っている事業者があり、また、市ではソフトバンクと

の連携協定により DX の推進を図っている。こうした事業者や市に協力を求めることで、新たな支援策の展開につながるのではないだろうか。地域内の活用可能な資源や連携先を積極的に活用し、事業者支援の充実を図ってほしい。